

テーマ：(2)カリキュラム検討・教員研修(担当：畠山教育長、石井教育長)

- 活動方針
 - 「ふるさと創造学」を中心に、ビジョンで実現したい「一貫した教育」の実践に向けて、教員研修やカリキュラム検討を行う
- 体制
 - カリキュラム検討・教員研修委員会：小中高校の教務主任を中心に構成
- 実施概要
 - カリキュラム検討・教員研修会（2015/5/1@郡山・富岡町教育委員会会議室）
 - ・ 講師：兵庫教育大学教授・日渡円氏
 - ・ 参加者：双葉郡小・中・高校の教員 31 名
 - ・ 内容と成果：各校の「ふるさと創造学」カリキュラムにおける工夫に活かすためのワークショップ。2年目をむかえた「ふるさと創造学」の位置づけを確認するとともに、議論とまとめのプロセスを通して、アクティブ・ラーニングの要素である多様性を教員自ら体感した
 - ふるさと創造学教員研修会（2015/5/28@郡山・富岡町教育委員会会議室）
 - ・ 講師：文部科学省視学官・田村学氏
 - ・ 参加者：双葉郡小・中・高校のふるさと創造学担当教員 30 名
 - ・ 内容と成果：総合的な学習の時間における「ふるさと創造学」単元計画のブラッシュアップのための講義とワークショップ。参加教員は各校での内容充実や指導方法の向上につながる気づきを得た。さらに、町村や校種を超えた交流の場ともなり、情報共有とモチベーションアップにつながった
- 今後の研修予定
 - 公開授業研究会（2015/11/6@三春・富岡第一第二小中学校）
 - ・ 「ふるさと創造学」を通して育みたい力のひとつである「課題解決力」の育成につき、総合的な学習の時間だけでなく教科でも展開し、授業改善に生かすことを目的とした、算数・数学の公開授業と研究会
 - 教職員による双葉郡子供未来会議（2016/1/13@郡山・ビッグパレットふくしま）
 - ・ 昨年1月、今年1月に続く3回目の開催。2年目の「ふるさと創造学」の評価と次年度への展望を持つため、外部講師（NPO 法人 Teach For Japan 松田代表理事）による講演と、教職員同士の意見交換
- 委員会活動など
 - 委員会下部組織・カリキュラム検討部会（2015/10/23@郡山）
 - ・ 各校での「ふるさと創造学」の成果と問題点を持ち寄り共有し、定義固めと来年度のカリキュラム検討の参考とする
 - カリキュラム検討・教員研修委員会（2016年1月予定）
 - ・ 「ふるさと創造学」の定義固めと各校でのカリキュラムに落とし込むためのフレームワークの検討を行う

以上

テーマ：(3)情報発信・コミュニケーション(担当：畠山教育長)

□ 目的

- 双葉郡内各校の取組や子供たちの姿・思いを、教員や子供の視点を大切に地域内外へ取組を発信することで、ふたばの絆をつくとともに、表現・発信等のアクティブ・ラーニングにつなげる

□ 委員メンバー（広報誌の企画、制作）

- 畠山 熙一郎 浪江町教育長（委員長）
庄野 富士男 双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局長（委員）
伏見 伸一郎 富岡町立富岡第二小学校長（委員）
板橋 優子 浪江町立浪江中学校 教諭（委員）
吉田 夏子 福島県立ふたば未来学園高校 教諭（委員）

※雑誌編集者、デザイナー等の外部アドバイザーの協力を得て推進

□ 協議会広報誌「ふたばの教育」

- 読者：双葉郡の地域の方々・保護者（各町村の広報誌に同封し 8 町村全戸へ発送）および双葉郡内教育関係者（郡内各校、県教育委員会等へ発送）
- 部数：約 38,000 部
- 発行：秋号＝2015 年 11 月上旬配布、春号＝2016 年 2 月下旬配布（予定）
- 編集方針：
 - 子供たちや学校の今を伝えるために、現場の教職員が自らテーマ検討、取材、記事作成などを行う
 - 各号にメイン特集を置く。秋号は「8 月交流会」、春号は「12 月ふるさと創造学サミット」とする
 - 学校紹介・PR ページは、各校から発信したいコンテンツを募る（試行中の Google Apps のファイル共有機能を活用）

□ 委員会と広報誌発行スケジュール

- 2015/6/3 第 1 回委員会開催 → 各校へ企画概要と取組情報募集
2015/7/23 第 2 回委員会開催 → 紙面レイアウト・デザイン案作成
2015/8/20 「中高交流会」「小学校絆づくり交流会」取材 → 原稿作成
2015/9/15 第 3 回委員会開催 → 原稿チェック～校了 → 入稿
11 月初旬 秋号配布予定（※別紙参照。各町村の 11 月発送広報誌に同封予定）
11 月以降 春号準備開始

□ 協議会ウェブサイト

- 協議会主催活動だけでなく、各校の行事や特色ある取組等が発信し、内容の充実を図っている
- 現在は事務局が取材およびページ作成しているが、各校や地域から集めた記事などの素材の掲載も検討していく予定（素材収集には Google Apps を利用）
- 今後の課題は、双方向コミュニケーションの可能性を広げることと、多くの人に見ていただくためのアクセス数増加への対策を立てること

(参考) 双葉郡教育復興ビジョン推進協議会ホームページ



[トップ](#) [お知らせ](#) [お問い合わせ](#)

ふたばの子どもたちの未来のために

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会

[トップ](#) > [お知らせ](#) > [【レポート】 葛尾・富岡・川内合同水泳記録会！](#)

協議会について

目指すこと

取り組み

会議記録

広報誌

リンク

ふたばの教育復興応援団

イベントカレンダー



【レポート】 葛尾・富岡・川内合同水泳記録会！



9月3日（木）、川内小学校の屋内プールを会場に、葛尾小、富岡第一・第二小、川内小、3町村・4校の合同水泳記録会が開かれました。



寒さも心配されましたが、当日はお天気に恵まれました。合同記録会ということで、自己ベストを出す子が続出したそうです。



以上

テーマ：(4)ふるさと創造学サミット(担当:矢内教育長、半谷教育長)

□ 第2回ふるさと創造学サミット実施概要

- 日時：2015年12月12日(土)10時30分～14時15分(予定)
- 会場：郡山市中央公民館 多目的ホール
- 内容：各校の「ふるさと創造学」の取組経過・成果の発表・意見交換と交流
※ポスターセッション(ブースごとの展示発表)形式をメインとする



- 目的：①「ふるさと創造学」の成果発表を通じ子供たちの表現・発信力を高める
②双葉郡内各校共通の取組を地域に発信し、地域の復興に資する
③子供同士が交流し、町村・校種を越えて協働で学ぶ場をつくる
- 今年度目標：子供たちが共に行動し、考え、創造し、“ふるさと ふたば”をつなぐサミットの開催(スローガン：「僕たち、私たちがつくる、ふるさと創造学サミット 2015 -Be active, Be innovative-」)

□ 実行委員メンバー(サミットの実施内容検討、運営)

- | | |
|--------|------------------|
| 矢内 賢太郎 | 檜葉町教育長(副委員長) |
| 半谷 淳 | 双葉町教育長 |
| 横山 浩志 | 相双教育事務所 指導主事 |
| 遠藤 和雄 | 浪江町立浪江小学校長(委員長) |
| 小野田 敏之 | 大熊町立大熊中学校長(副委員長) |
| 井出 小枝子 | 富岡町立富岡第一小学校 教諭 |
| 倉 正道 | 葛尾村立葛尾中学校 教諭 |
| 宮内 忠志 | 福島県立ふたば未来学園高校 教諭 |
| 菊池 宏子 | 外部アドバイザー |

□ スケジュール

- | | | | | |
|------------|----------------|----|------|----------------|
| 2015/6/22 | 第1回実行委員会開催 | → | 7/3 | 一次案内配布 |
| 2015/9/8 | 第2回実行委員会開催 | → | 10/5 | 二次案内配布・参加計画書作成 |
| 11月中 | 三次案内配布、会場下見、等 | | | |
| 2015/12/12 | 第2回ふるさと創造学サミット | 開催 | | 以上 |

テーマ：(5)他地域交流(担当：半谷教育長、矢内教育長)

□ 目的

地域に関わる人びとと交流することで、

- ①他地域の課題や取組の工夫を知り、その思いや考えにふれる
- ②自分自身の生き方を追求し、地域の発展への視点を育む

□ 委員メンバー（交流事業の企画、運営）

半谷 淳 双葉町教育長（委員長）
矢内 賢太郎 檜葉町教育長
横山 浩志 相双教育事務所 指導主事
武内 雅之 川内村立川内小学校 教頭
佐藤 伸郎 福島県立ふたば未来学園高校 教諭

□ 事業内容①：島根県立隠岐島前高校・福島県立ふたば未来学園高校交流

- 日程：2015年9月20日（日）～23日（水）〔3泊4日（後泊含む）〕
- 訪問先：双葉郡広野町・川内村
- 参加者：隠岐島前高校生徒12名（1年8名、2年4名）教員等：3名
 ふたば未来学園高校生徒12名（1日目）7名（2日目）教員：3名
- 内容：交流会、広野町・川内村フィールドワーク、シェアリングセッション、等
- 成果と課題：
 - （成果）創造的な教育、地域の活性化に先進的に取り組む島根県隠岐島前高校生との交流事業を昨年に続いて実践。ふたば未来学園高校の一期生が参加し、2日間に亘り意見交換、情報交換、被災者との交流等を行った。ふたば未来学園の生徒にとっても隠岐島前高校生徒にとっても、有意義な活動となった
 - ✓ 地域の課題と向き合い、真摯に取り組む大人たちとの触れ合いによる気付きや学び
 - ✓ 地域や学校が異なる同年代と語り合うことによる刺激を得たこと
 - ✓ 自分自身を見つめなおす機会となったこと
 - （今後の課題）次年度以降の交流の在り方を検討すること、交流事業で得た成果を多くの郡内外の人々と共有し、ビジョンの実現に活かしていくことが重要



□ 事業内容②：福井県さばえ まちづくり体験ツアー

- 日程：2015年10月10日（土）～12日（月）〔2泊3日〕
- 訪問先：福井県鯖江市各所
- 参加者：広野中1名、双葉中3名、富一中1名、ふたば未来学園高校1名、
双葉高校1名、浪江高校津島校2名（生徒9名）
引率教員5名、教育長1名、事務局2名（大人8名）
- 内容：鯖江市役所 JK 課インターン「さばえのまちに、ひとついいことをする」、
鯖江市フィールドワーク、ほか
- 成果と課題：
 - （成果1）地域の活性化、課題の解決に取り組む鯖江市の先進的な事例に触れ、ものづくり団体、学生団体などと交流したことで、参加生徒、教員共に様々な刺激と学びが得られた。また、鯖江市の伝統文化や歴史、産業にも触れることができた
 - （成果2）鯖江市の JK 課他のメンバーと「ゆるやかな活動」による地域貢献の活動に参加し、地域活性化のあり方やアイデアを自ら考える有意義な研修となった
 - （今後の課題）参加者の学びや意欲を次のステージに活かせるよう、機会と場の設定を工夫すること。また、海士町や鯖江市との情報交換・共有、地域活性化を追求する主体とのネットワークの拡大に取り組むこと



以上

テーマ：(6)双葉地区学校支援地域本部(担当：秋元教育長、浅野教育長)

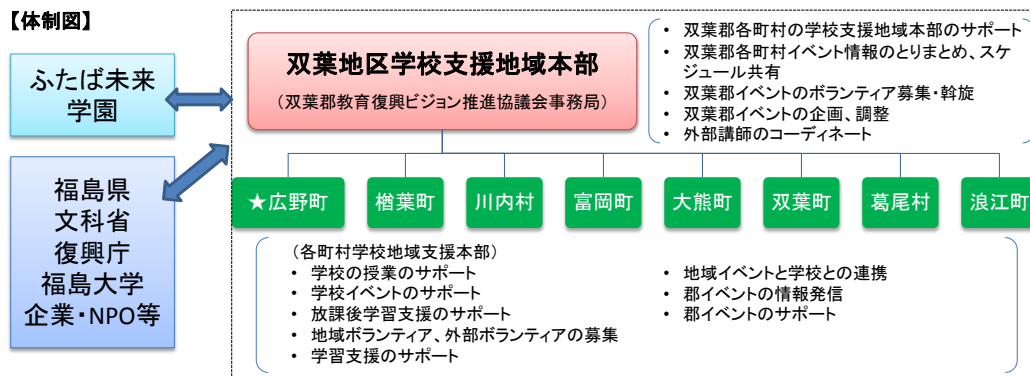
□ 設置目的 (2015年6月4日設置)

- 多様な主体 (各学校の応援団として家庭・地域・NPO・企業等) との連携により子供達への教育の充実を図り、もって教育と地域復興の相乗効果を生み出す

□ 委員メンバー (交流事業の企画、運営)

- 双葉郡 8 町村の地域コーディネーター
- 双葉郡 8 町村立小・中学校教職員を代表する者
- 県立ふたば未来学園高等学校教職員を代表する者
- 双葉郡 8 町村教育委員会を代表する者
- 双葉地区学校支援地域本部コーディネーター
- その他、地域本部の活動に賛同する者

【体制図】



□ 実施事業

- 双葉郡 8 町村の各学校支援地域本部または地域コーディネーターの活動の支援
- 双葉郡 8 町村の各町村及び各学校のイベント情報、スケジュールの共有
- 双葉郡全体でのイベントの企画やボランティアの調整
- 外部講師としての地域人材等のコーディネート など

□ 支援活動実績 (例)

- 「地域による双葉郡子供未来会議」開催 (2015/6/4@ふたば未来学園高校)
- ふたばの教育復興サポーター・秋本真吾さん授業コーディネート (2015/7/14@広野小学校、川内小学校)
- 「島根県立隠岐島前高校・福島県立ふたば未来学園高校交流事業」内、フィールドワーク先との調整 (2015/9/21-22)
- 広野中学校キャリア教育授業 (外部講師による講演) コーディネート (2015/9/24)
- 各小中学校への地域人材等の外部講師招聘に係るコーディネート (通年/各町村学校支援地域本部・地域コーディネーターによる手配)

以上

テーマ：(7)コミュニティ復興拠点検討会(担当：秋元教育長、浅野教育長)

□ 目的

- 双葉郡教育復興ビジョンの方針の一つである「教育と地域復興の相乗効果を生み出す」動きの実現、ふたば未来学園の特色である「各種連携による教育」の推進や「ふるさと創造学」の展開を具体化する

□ 検討会メンバー所属組織

- 福島大学（人間発達文化学類・うつくしまふくしま未来支援センター）
- 双葉地区教育長会
- 福島県教育庁高校教育課、文化スポーツ局生涯学習課、企画調整部企画調整課
- 広野町（ふたば未来学園立地町）復興企画課
- 文部科学省
- 復興庁
- 外部（東北大学大学院、横浜市東山田中学校コミュニティハウス、等）

□ スケジュール

- 2015年5月 コミュニティ復興拠点検討会・実務者会議開催

□ 検討会の成果

- 双葉郡の中高一貫校において、生徒が主体的に動き地域とともに学び、授業や学校生活を通じて地域コミュニティと交流できる環境を実現できるように、平成31年4月設置予定の福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校（仮）の基本計画案に検討会での意見等を反映した
 - ※ 双葉郡中高一貫校整備は県推進事業のため、詳細は県より説明
- 2015年6月 ふたば未来学園校舎建築実務者会議開催（4回）
- 2015年8月 双葉郡中高一貫校整備事業 公募型プロポーザル・公開審査

以上

テーマ：(8)絆づくり・学習支援/WG3(担当：猪狩教育長、石井教育長)

【絆づくりについて】

□ 「第1回双葉郡8町村小学校 絆づくり交流会」開催概要

- 日時：2015年8月20日（木）10：30～14：00
- 場所：ビッグパレットふくしま 多目的ホール・屋外展示場
- 参加者：双葉郡8町村立小学校児童99名、教職員76名、ボランティア・関係者63名（計238名）
- 目的：①8町村小学生による学校の垣根を越えた仲間づくり
②双葉郡内小学校の教職員が情報交換を通してモチベーションを高める
- 内容：ミニ運動会、および昼食・お楽しみ軽食会

□ 実行委員会（企画、運営）

| | | |
|---------------|-------|--------|
| 浪江町立大堀小学校長 | 古田 研寿 | （委員長） |
| 川内村立川内小学校教頭 | 武内 雅之 | （副委員長） |
| 富岡町立富岡第二小学校教諭 | 鈴木 博 | |
| 広野町立広野小学校教諭 | 佐藤 大志 | |
| 大熊町立大野小学校教諭 | 星 輝伸 | |
| 川内村立川内小学校教諭 | 仲丸 和宏 | |

□ 支出報告（単位：円）

| | |
|------------------|--------------------------------|
| ビッグパレット施設・備品使用料 | （627,788.-）※免除 |
| 会場整備費 | 130,280.- |
| チーム分けリストバンド | （204,765.-）※東北復興弁当による寄付 |
| ペットボトル水 | （36,000.-）※キリン株式会社寄付 |
| 昼食・軽食 | （99,157.-）※個人寄付等 |
| 消耗品費、保険料等諸経費 | 55,173.- |
| 旅費交通費（精算未了のため概算） | 150,000.- |
| 合計 | ¥ 335,453.-：実額（1,303,163.-：名目） |

□ 来年度実施案：

今年度の成果と課題をふまえて以下の通り計画

- 日時：2016年8月10日（水）10：30開始～14：00解散
- 場所：ビッグパレットふくしま 多目的ホール・屋外展示場
- 実行委員会当番校：大野・熊町小学校、次年度当番校：浪江・津島小学校



【学習支援の状況について】

□ 学習支援の状況

- 昨年度のアンケートでいわき北部エリアでの学習支援拠点の必要性を確認
- 今年 7 月 22 日大熊町・好間第三応急仮設住宅集会所にて放課後学習会開始
- 同時に、いわき駅前にフリースクール開設

□ 利用状況（いわき地区：学べるコムネット運営）：9/25 時点

| 主催 | 学習会 | 場所 | 対象学年 | 参加人数 |
|-----|----------------------------|--------------|----------------------|--------|
| 双葉町 | ふたばっ子錦町学習会 | 仮設双葉町立小学校図書館 | 小学1年から6年生 | 9名 |
| | | | 中学1年 | 1名 |
| | ふたばっ子南台学習会 | 南台仮設住宅集会所 | 小学1年から5年生 | 11名 |
| | | | 中学1年 | 1名 |
| | | | 中学2年 | 2名 |
| 檜葉町 | ゆずり葉学習会檜葉中学 | 仮設檜葉中学校教室 | 中学3年 | 18名 |
| | 特別ゆずり葉学習会 (夏期講習・定期試験対策) | 仮設檜葉中学校教室 | 中学3年 | 18名 |
| | | 仮設檜葉中学校教室 | 中学2年 | 17名 |
| | | 仮設檜葉中学校教室 | 中学1年 | 20名 |
| | ゆずり葉学習会「空の家」 | 空の家 | 中学1年 (いわき市内中学校在籍) | 3名 |
| 空の家 | | 中学3年生 | 1名 | |
| 大熊町 | おおくま放課後学習会 | 好間第三応急仮設集会所 | 小学生4年 | 3名(※1) |
| | | | 幼児 | 2名 |
| | フリースクール | ラトBIT室又は会議室3 | 中学生 | 0名 |
| | | | 小学生 | 3名 |

※3名のほか、フリースクールに通っている双葉郡出身児童1名が不定期で参加している

□ 今後のすすめ方

- 「双葉郡の仲間と一緒に学ぼう」案内チラシを広報誌と合わせて配布（11月）
- いわき地区だけでなく、ビーンズふくしま運営の中通り（福島、二本松、三春、郡山）や会津の学習会についてもまとめて広報する（※別紙参照）

□ WG3 委員

- | | |
|---------|---------------------------|
| 猪狩 省造 | 葛尾村教育委員会教育長 |
| 石井 賢一 | 富岡町教育委員会教育長 |
| 新井川 美千枝 | 富岡町立富岡第一小学校長 |
| 荒井 優 | 東日本大震災復興支援財団専務理事 |
| 中鉢 博之 | NPO 法人ビーンズふくしま被災子ども支援部門理事 |
| 木村 政文 | 福島県教育庁相双教育事務所長 |
| 原 典久 | 復興庁原子力災害復興班参事官 |

□ WG3 の開催について

- 2015/6/19 第 13 回 WG 開催
 2015/9/28 第 14 回 WG 開催
 2016 年 1 月 第 15 回 WG 開催（予定）

以上